

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	北区立東十条小学校
授業者	林 正和

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

伝え合おう海の生き物 「岩井の果てまで行って SEA～岩井自然体験教室～」

#### 1-2. 学年

第5学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

海育科

#### 1-4. 単元の概要

3泊4日で実施された岩井自然体験教室では下記の5つの「海」に関わる活動をプログラムした。

- (1) 海岸散策
- (2) 館山市立館山小学校との海洋に関する交流活動
- (3) ビーチコーミング
- (4) ヒトデの観察
- (5) 海苔すき体験

以上の体験を通し、特に関心をもった活動から研究テーマを設定し、問題解決型の学習を行った。学習の成果は新聞やパンフレットなどの形式でまとめ、学級内で交流を行った。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

海から離れた地域にある本校の児童にとって「海」を身近に感じる活動は興味・関心をひくものであり、驚きは知的探求心を高めるものである。そこで本単元では「海」に関わる5つの活動を通し、自らがより詳しく知りたいというテーマを設定し問題解決的に調べ、まとめるという計画を立て学習を進めた。

様々な種類の貝殻、アマモの果たす役割、ヒトデの生態、色落ちした海苔など、実際目の当たりにした「海」は児童にとって驚きの連続であり、海への関心を高めるものになると考える。問題解決的に学習を進めることにより、海への関心はもとより知識を深めることができると考える。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<ul style="list-style-type: none"> <li>・海への親しみ、海への関心をもつ</li> <li>・自分たちの生活が海に影響を及ぼしていることがわかる</li> </ul>
--

1-7. 単元の展開（全10時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 3	<p>○岩井自然体験教室で下記の5つの体験的な活動を行う。</p> <p>(1) 海岸散策</p> <p>(2) 館山市立館山小学校との海洋に関する交流活動</p> <p>(3) ビーチコーミング</p> <p>(4) ヒトデの観察</p> <p>(5) 海苔すき体験</p>	<p>・出発前に単元の見通しをもつことができるように事前指導を行う。</p> <p>協力：お茶の水女子大学 S&amp;E センター及び湾岸生物教育研究センター</p>
4	<p>○活動から研究のテーマを設定する。</p> <p>○テーマに関してわかったことや疑問、知りたいことを整理する。</p> <p>○学習問題を立てる。</p>	<p>・わかったことや疑問、知りたいことはイメージマップに色別で整理させ、自らの学習問題を立てやすくさせる。</p>
5	<p>○問題に対する予想を立てる。</p> <p>○予想を確かめるための調べる計画を立てる。</p>	<p>・できるだけ根拠をもって予想を立てるように声掛けする。</p> <p>・インターネットで調べる注意点を説明する。</p>
6 ～ 8	<p>○調べる計画に沿って調べる。</p>	<p>・出典を記録するように指導する。</p> <p>・まとめる際に有効な資料があれば保存しておくように指導する。</p>
9 ・ 10	<p>○調べて分かったこと、考察をまとめる。</p>	<p>・まとめ方は自己選択させる。</p> <p>・わかったことや考察だけでなく、体験からの一連の記録として記述するように指導する。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

○自分の研究テーマについての学習問題をつくる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 岩井自然体験教室での活動を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトデは心臓がないのに生きているって聞いた。</li> <li>・アマモは魚の住処だった。</li> <li>・貝殻がきれいだった。</li> </ul> <p>2. 自分の研究テーマを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトデについて詳しく調べたい。</li> <li>・なぜアマモが減っているのか知りたい。</li> <li>・どんな貝殻の種類があるか調べたい。</li> </ul> <p>3. テーマについて知っていること（教えてもらったこと）、疑問（知りたいこと）をイメージマップにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトデは血液が流れていないって聞いたけどどのように生きているのかな。</li> <li>・アマモは魚の住処になるって聞いたけど、ほかに役割はあるのかな。</li> <li>・貝殻は固い殻で覆われているけど他に身を守る工夫はあるのかな。</li> </ul> <p>4. 疑問（知りたいこと）を中心に学習問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒトデの生態と海での役割を調べよう」</li> <li>・「アマモの役割を調べよう」</li> <li>・「貝殻にはどんな種類があるのだろうか」</li> </ul> <p>5. 次時以降の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験教室の様子を写した写真などを活用し、具体的に想起できるようにする。</li> <li>・選んだテーマについて疑問や知りたいことがマップに書けない場合はテーマを変更してもよいことを伝える。</li> <li>・マップ内の疑問を羅列するのではなくカテゴリー分けをして問題を作るように指導する。（例「心臓がないヒトデはどのように生きているか」+「ヒトデは何を食べているか」=「ヒトデの生態」など）</li> </ul> <p><b>評</b> 自分の研究テーマについての疑問や知りたいことから学習問題をつくることができる。（ワークシート・観察）</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

- お茶の水女子大学S&Eセンター及び湾岸生物教育研究センターの協力のもと、岩井において体験的な活動を行えたことで、児童の海に対する興味や関心を高めることができた。
- 自分のテーマについての学習問題に対する予想を立てて調べ学習に移ったことで、予想があっているかという意欲をもって学習に取り組むことができた。

### 4. 今後の課題

- 事前指導を工夫することで、より海に対する関心を高め、より岩井での活動に意欲的に取り組めたのではないか。
- 調べまとめたものの発表の仕方など交流の仕方を工夫することで、より海への関心を高めるとともに、自分たちの生活と海への影響について考えることができたのではないか。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- 特になし







2019年(平成31年)10月16日 水曜日

4

**鴨川などで全日本大会**

12日(水)

鴨川などで行われる全日本大会の様子が、12日(水)の朝刊に掲載された。

**ちゃんことライブで被災者支援**

元大團のKONISHIKIさんの他山で

被災者支援のライブイベント「ちゃんことライブ」が、元大團のKONISHIKIさんの他山で開催された。

**5年生131人が交流**

市内各校の5年生が交流した。

**盛大に地区運動会**

鴨川で若潮まつり

秋田県下700人の参加

**鴨川にデジスト丸珈**

鴨川にデジスト丸珈がオープンした。